

環境特集 金環日食



太陽が月によって隠されリング状に見える珍しい天体現象「金環日食」。日本国内では25年ぶり、和歌山で見られるのは282年ぶりということで、町内でも各地で観測会などが行われました。

当日は曇りの予想だったため観測できるか心配されましたが、7時26分に金環日食が始まる頃には薄雲の切れ間や、地域によっては晴れ間から、リング状の太陽を観測することができたようです。

～かわべ天文公園コーナー～

星のつぶやき

A murmur of a star

『広報日高川町』をお読みの皆さん、こんにちは。私はこの度、かわべ天文公園の館長に就くことになった元天文技術員の上玉利です。突然ですが、11月に行われる「星空の街・あおぞらの街全国大会」に併せ、何か寄稿をとの依頼を受けました。今回限りではなくおそろく11月号までお付き合い頂くことになると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私たちはこの2か月の間に、「金環日食（下記写真左）」や「金星の太陽面通過（下記写真右）」など、とても珍しい天文現象に出会うことができました。お仕事などの都合でご覧になれなかった方もおられるかもしれませんが、今年は8月末までに、例年になく天文現象が目白押しです。現在、そのことを紹介するプラネタリウム番組「めざせ！星空の金メダル」を上映中です。

すでに終わってしまっている天文現象も、かわべ天文公園で観測できた映像などを使って紹介しますので、当日それを見逃してしまった方もこれで追体験してみてください。

ところで、7月と言えば「七夕」を思い浮かべる方も

多いと思いますが、本来の七夕の星空は8月ごろの空の方が理にかなったものになります。梅雨の時期でもあるので、「天の川」を楽しみたいと思われる方はあまりあわてずに、8月の空を待たれるといいですよ。どうしても7月中に見たい人は、真夜中ごろに頭の上にある「夏の大三角」を探すつもりで星空を眺めていると、そこにぼんやり白く雲のように見えている天の川に出会えるはず。日高川町内だったら、よほど近くに街灯などがなければどこでも見られるでしょう。なお、どうしても分からなければ、お気軽にかわべ天文公園までお尋ねください。お待ちしております。

■かわべ天文公園 ☎53-1120

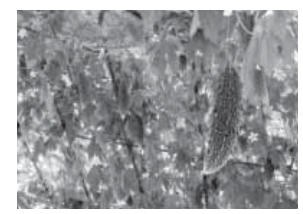
緑のカーテンをつくってみよう!



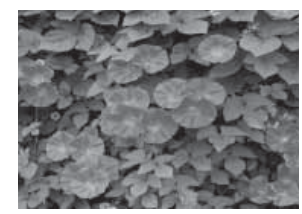
ゴーヤや朝顔を栽培し、「緑のカーテン」で夏の強い日差しをやわらげ、室温の上昇を抑えよう。

緑のカーテン 育て方 【用意する物】 苗・土・肥料・軽石・プランター・ジョウロ スコップ・手袋・園芸用ネット（つるもの用または紐）

- 1 プランターに鉢底石を敷いてその上に培養土を入れたらプランターに苗を二つほど定植する。
- 2 ゴーヤは、本葉が5～6枚になったら脇芽は残すようにつるの先端をカットする。朝顔は、本葉が7～8枚になったらつるの先を摘芯する。脇芽が生長し、株にボリュームが出て花つきがよくなります。
 ★ポイント…脇芽を残すように先端をカットします。
- 3 苗が50cmくらいに生長してきたら、肥料を与える。
 ★ポイント…肥料を株から離してあげましょう。
- 4 ネットの1/3くらいまで生長したら、つるをネットにバランスよく広げて巻きつけ、数カ所を軽くとめる。
 ★ポイント…夏場は朝夕欠かさず水を与え、できるだけ葉や花には水がかからないように。



【ゴーヤの収穫】
種まきから2ヶ月ほどすると収穫の時期。実は25cm程度で収穫します。収穫が遅れると実が熟れてしまい、つるの生長が悪くなります。



【朝顔の花】
7月中旬頃から9月いっぱい頃まで、朝顔の花を楽しむことができます。

緑のカーテン白慢コンテスト

自宅で栽培した「緑のカーテン」の写真を送ろう!

- ▶ 優勝者には…道の駅「Sanpin中津」の5,000円分のお買いもの券 × 1本
- ▶ 入賞者には…道の駅「Sanpin中津」の3,000円分のお買いもの券 × 5本

■応募方法
栽培品種（例：ゴーヤ）、栽培数量（例：10株）、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、写真を同封してください。

- ◆郵送での応募：644-1324 日高川町土生160 日高川町役場まちみらい課 宛
- ◆メールでの応募：machimirai@town.hidakagawa.lg.jp まで
- ◆応募締切：8月31日

■お問合せ まちみらい課 ☎22-2041

日高川町では、環境保全のさらなる意識高揚に向けてのきっかけ作りに取り組んでいます。11月17・18日「第24回星空の街・あおぞらの街全国大会」の開催にあたり、環境保全の様々な取り組みを実施していきます。